



潮風

平成17年7月20日発行 (年2回刊)

〈教育後援会だより〉

しおかせ

発行/明海大学浦安キャンパス教育後援会
〒279-8550 千葉県浦安市明海8
電話 047-355-5112 FAX 047-355-2871
http://www.meikai-koenkai.com/

2005年評議員会開催

「教育後援会主体事業」「学生の自主活動への援助」「大学実施事業援助」の3つが事業の柱に

平成17年5月28日(土)、浦安キャンパスで2005年度教育後援会評議員会が開催され、今年度の事業計画、予算を審議した。

明日につながる基盤作りの1年

2004年度を総括

審議に先駆けて横濱孝雄会長が開会のあいさつ。その中で「2002年度に教育後援会の会費を減額して以降、各事業への予算計上

が厳しい現状になってい

る」として、2004年度は事業収支と会費収入のバランスをとるために従来からの事業の見直しを図り、

一部事業の削減を行った。また、新規事業の方向性については2005年度か

ら3年計画で事業の見直しを行うなかで検討していくことが役員会などで承認されたことを報告した。そして、「この1年間、教育後援会の事業や予算の見直しを行うと共に新規事業の方向性に重点をおいて活動し、明日につながる基盤ができたと思う」と2004年度を締めくくった。

次に大学側を代表して高倉翔学長がスピーチ。「日頃は学生たちの生活のサポート、教育研究を含む大学の活動をサポートしていただき、ありがとうございます」と挨拶する横濱会長

ます」と、感謝の言葉の後、有名校でも決して安閑としていられない日本の大学を取り巻く環境の大きな変化の中での対処として、「本学は研究よりも教育重視の方向に大学経営の舵を切りました。入った学生は徹底的に教育する。その教育とは徹底した実学志向で、就職力を身につけさせることが目標」と述べ、その現れの一つとして、今年度はホスピタリティ・ツーリズム学部を加えて4学部体制となったことを報告した。

続いて議事に移り、①2005年度の学年歴について ②2005年度入学試験結果について



大学浦安キャンパス教育後援会



挨拶する横濱会長



新評議員の紹介

事業報告と決算報告が行われた。昨年度の事業としては、地区父母懇談会を6回行ったり、教育後援会だより「潮風」の発行やホームページの充実などで、会員への情報発信をさらに強化した。一方、長引く経済不況により教育後援会の奨学金の回収が滞っていたため、大学、事務局、教育後援会

が一体となって回収に努め、そのメドをつけることができた。また、長・短期留学海外派遣学生の援助では、希望する学生が全員参加できるよう、短期海外研修274名、長期留学36名に援助した。このペースで4年間続けば、学生の5人に一人は海外体験をすることができると計算。

そして2年目となる学生表彰では35名を表彰。このほか、課外活動や学園祭など学生の自主的活動への援助や、コンピテンシー診断テストの実施や、キャリアハンドブック作成、学内企業セミナーなど就職対策への援助や少人数教育、特別成果と概要説明が行われて審議に入り、満場一致で承認された。

この度、2005年度明海大学浦安キャンパス教育後援会評議員会のご承認により、会長を務めさせていただきます鈴木陽夫でございます。会長という大任を仰せつかり、その責任の重さを痛感いたしております。

評議員会で承認された事業計画に基づき、皆様のご意見、ご協力をいただきながら、滞りなく運営していきたくと考えております。大学にとって、4月に新学部(ホスピタリティ・ツーリズム学部)が開設され、新たな大学の歴史が始まっております。教育後援会は、発足以来本年10月に17年目を迎えます。諸先輩方の幾多のご尽力により活動内容についても見直し・検討が加えられ、大学と保護者の間をつなぐ有意義で重要な役目を担っております。しかしながら、時代が急速に変化する中、教育後援会の役割も更なる充実が求められています。1年という短い期間ではありますが、学生のために何を実施したのか、検証し



明海大学浦安キャンパス教育後援会評議員会

会長挨拶 会長就任にあたって



明海大学浦安キャンパス教育後援会
会長 鈴木 陽夫

この度、2005年度明海大学浦安キャンパス教育後援会評議員会のご承認により、会長を務めさせていただきます鈴木陽夫でございます。会長という大任を仰せつかり、その責任の重さを痛感いたしております。

本年度事業の三本柱

- ①教育後援会主体事業
- ②学生の主体的諸活動(団体)への援助
- ③大学実施事業援助を基本に運営してまいります。

第一の柱では、各地区における地区懇談会の更なる充実です。保護者にとって子ども様子を大学の先生方との懇談の中から、理解・信頼を深めることができます。また、留学・就職・教務相談・学生相談のコーナー等を設けてまいります。

第二の柱では、学友会活動・課外活動・留学生連合会等への協力、援助を図ることです。

第三の柱では、長・短期海外派遣事業、進路・就職対策・少人数教育・諸団体指導者への援助を推進してまいります。

(次ページへ続く)

新会長に鈴木陽夫氏

次いで今年度新たに評議員に加わった15名の紹介があり、鈴木陽夫新会長ほか、役職幹事候補者が発表され、

承認を得た。就任した鈴木会長は「このような大役が務められるのか不安ですが、精一杯がんばっていきたいと考えています。大学側と緊密な連携を取りながら、新たに選出された役員と一緒に、教育後援会活動を進めていきたい」と抱負を述べた。



また、新学部ができたことなどにより、教育後援会会則変更の必要があり、改正が承認されている。

2005年度明海大学浦安キャンパス教育後援会事業計画

I. 教育後援会主体事業

- A-1 地区教育懇談会開催 (6地区)
- A-2 教育後援会だより広報紙「潮風」の発刊
- A-3 教育後援会奨学金制度
- A-4 学生の住宅相談・紹介、地区宅建協会との情報連携
- A-5 卒業記念品の贈呈
- A-6 卒業アルバムの贈呈
- A-7 国内外大学施設等視察
- A-8 教育後援会HPの充実
- A-9 学生の慶弔に関すること
- A-10 教育後援会学生表彰の実施
- A-11 教育後援会創立20周年記念事業計画

II. 学生の主体的諸活動(団体)への援助

- B-1 課外活動団体(学友会)への援助
- B-2 学園祭への援助
- B-3 学友会サマーキャンプへの援助
- B-4 課外活動特別強化への援助
- B-5 新入生歓迎会への援助
- B-6 留学生連合会主催行事への援助
- B-7 課外活動団体等への大会出場への援助
- B-8 契約施設利用者への援助
- B-9 卒業パーティー実施への援助
- B-10 卒業アルバム制作への援助

III. 大学実施事業援助

- C-1 長短期学生交流海外派遣への援助
- C-2 大学就職対策セミナー等への援助
- C-3 学校施設設備等への援助
- C-4 学生食堂運営等への援助
- C-5 少人数教育・学部教育への援助
- C-6 学友会等顧問教職員、課外活動の顧問教員への援助
- C-7 課外教育活動団体指導者等への援助
- C-8 ピアサポートセミナーへの援助

従来事業の充実を目指す

2005年度事業計画

ここからは議長を交代し、鈴木新会長の進行で議事を再開した。事務局より新年度の事業計画案と予算案が発表された。昨年度同様、①教育後援会主体事業 ②学生の自主活動への援助 ③大学実施事業援助の3つの柱に基づいて事業が組み立てられている。

具体的には、教育懇談会(昨年度までは地区父母懇談会の名称)開催などの組織対策費のほか、学園祭の援助、学食の補助など全学行事補助費、部活動の協力費、教育・研究補助、卒業アルバム制作費援助、就職対策への補助、長期・短期留学を補助する学生交流援助金、奨学金事業繰出金など学生関係活動対策費。診断テスト、キャリアアハンドブック、学内企業セミナー

鈴木新会長より、長年にわたって教育後援会に尽力した横濱会長を名誉会員にとの推薦が提案され、承認された。

横濱前会長が名誉会員に

2005年度役職幹事

役職名	氏名
会長	鈴木 陽夫
副会長	宇田川 芳子
副会長	篠原 康光
副会長	谷 昭夫
会計	醍醐 紀美子
監査	佐々木 守
監査	横山 容子
幹事	宮内 章雄
	服部 重明
	阿部 美佐子
	高崎 真理子
	東原 和男
	坪田 由人
	綿屋 美知世
	和泉 全子
	大塚 勝明
	金子 恵美
	田所 康弘
	富永 マス工
	仲村 務

(敬称略)

2004年度明海大学浦安キャンパス教育後援会一般会計決算書

(自) 2004年4月1日 (至) 2005年3月31日

収入の部					
科	目	本年度予算額	本年度決算額	増減額	
会費		118,540,000	116,272,000	2,268,000	
雑収入		599	477	122	
繰越金		3,270,401	3,270,401	0	
繰入金		12,000,000	15,620,547	△ 3,620,547	
合 計		133,811,000	135,163,425	△ 1,352,425	
支出の部					
科	目	本年度予算額	本年度決算額	増減額	
事業費	組織対策費	1,000,000	0	1,000,000	
	国内外大学調査研究費	2,000,000	2,035,351	△ 35,351	
	組織強化費	8,000,000	7,228,536	771,464	
	広報費	11,520,000	10,044,649	1,475,351	
小計		22,520,000	19,308,536	3,211,464	
学業費	全学行事援助費	32,710,000	36,968,846	△ 4,258,846	
	部活動等協力費	10,100,000	9,506,319	593,681	
	教育・研究補助	5,230,000	3,321,039	1,908,961	
	卒業記念品費	17,500,000	17,346,000	154,000	
	卒業アルバム制作費援助	11,000,000	10,337,000	662,980	
	就職対策費	9,200,000	9,200,000	0	
	学生交流援助金	10,000,000	9,475,000	525,000	
	施設整備支援	500,000	0	500,000	
小計		96,240,000	96,154,224	85,776	
事業費計		118,760,000	115,462,760	3,297,240	
会議費	評議員会議	1,300,000	1,203,222	96,778	
	幹事会・常任幹事会	2,000,000	1,643,433	356,567	
会議費計		3,300,000	2,846,655	453,345	
管理費	通信費	100,000	14,020	85,980	
	慶弔費	500,000	120,000	380,000	
	旅費交通費	80,000	0	80,000	
	印写事務費	700,000	616,472	83,528	
	業務委託費	8,100,000	7,404,678	695,322	
	渉外費	400,000	465,364	△ 65,364	
	消耗品費	300,000	129,438	170,562	
	雑費				
	事務費	1,270,000	1,468,505	△ 198,505	
	小計		11,450,000	10,218,477	1,231,523
備品費	什器備品費	100,000	74,130	25,870	
小計		100,000	74,130	25,870	
管理費計		11,550,000	10,292,607	1,257,393	
予備費		201,000			
次年度繰越金			6,561,403	△ 6,541,403	
合 計		133,811,000	136,163,425	△ 1,325,425	

2005年度明海大学浦安キャンパス教育後援会一般会計予算書

(自) 2005年4月1日 (至) 2006年3月31日

収入の部					
科	目	本年度予算額	前年度予算額	増減額	
会費		115,580,000	118,540,000	△ 2,960,000	
雑収入		597	599	△ 2	
繰越金		6,561,403	3,270,401	3,291,002	
繰入金		12,000,000	12,000,000	0	
合 計		134,142,000	133,811,000	331,000	
支出の部					
科	目	本年度予算額	前年度予算額	増減額	
事業費	組織対策費	800,000	1,000,000	△ 200,000	
	国内外大学調査研究費	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	
	組織強化費	8,500,000	8,000,000	500,000	
	広報費	5,000,000	11,520,000	△ 6,520,000	
小計		15,300,000	22,520,000	△ 7,220,000	
学業費	全学行事援助費	36,350,000	32,710,000	3,640,000	
	部活動等協力費	13,780,000	10,100,000	3,680,000	
	教育補助	6,650,000	5,230,000	1,420,000	
	卒業記念品費	17,500,000	17,500,000	0	
	卒業アルバム制作費援助	10,000,000	11,000,000	△ 1,000,000	
	就職対策費	9,470,000	9,200,000	270,000	
	留学研究費援助	10,000,000	10,000,000	0	
	施設整備支援	0	500,000	△ 500,000	
小計		103,750,000	96,240,000	7,510,000	
事業費計		119,050,000	118,760,000	290,000	
会議費	評議員会議	1,300,000	1,300,000	0	
	幹事会・常任幹事会	2,000,000	2,000,000	0	
会議費計		3,300,000	3,300,000	0	
管理費	通信費	100,000	100,000	0	
	慶弔費	500,000	500,000	0	
	旅費交通費	80,000	80,000	0	
	印写事務費	700,000	700,000	0	
	業務委託費	8,100,000	8,100,000	0	
	渉外費	500,000	400,000	100,000	
	消耗品費	500,000	300,000	200,000	
	雑費				
	事務費	1,000,000	1,270,000	△ 270,000	
	小計		11,480,000	11,450,000	30,000
備品費	什器備品費	100,000	100,000	0	
小計		100,000	100,000	0	
管理費計		11,580,000	11,550,000	30,000	
予備費		212,000	201,000	11,000	
合 計		134,142,000	133,811,000	331,000	

2005年度 教育懇談会

9月19日(祝)から

北陸・東北・東海・関東で5回開催!

教育懇談会は父母と大学の先生方が一同に会し、親しく懇談できる場として、参加者からは、「大学の考え方がよく理解できた」「成績表は見ていたが、直接先生から説明していただき理解できた」という声が多々聞かれる。

懇談会の内容は、普段学生たちが学んでいる教授による講演や父母と学科教員による個別面談。そして懇親会を行う。また、就職、学生支援、留学に関する相談コーナーも設けられるので、学生生活全般にわたる相談ができる。

特に個別面談で



個別面談

は、学生の成績表と個人別時間割を資料に行うので、成績や学習態度など具体的な話が、「今までは子どもからの情報しかなかったが、先生から話を聞き子どもからの大学でのようすがよくわかった」という感想も聞かれる。

※詳細につきましては、はがきでご連絡します。

2005年度教育懇談会日程

- 9月19日(祝) 北陸地区教育懇談会 (新潟市) 会場 ホテルイタリヤ軒
- 9月23日(祝) 東北地区A教育懇談会 (盛岡市) 会場 ホテルエース盛岡
- 10月22日(土) 東海地区教育懇談会 (静岡市) 会場 ホテルアソシア静岡 ターミナル
- 11月20日(日) 東北地区B教育懇談会 (福島市) 会場 福島ビューホテル
- 12月4日(日) 関東地区2年次教育懇談会 (浦安市) 会場 明海大学浦安キャンパス

「質の保証」の〈実現〉

学長 高倉 翔

「服装の流行よりも早い」といわれるほど、急速で広範囲にわたる大学改革が進行しております。明海大学も、そのような潮流の中で、大胆かつ細心の計画のもとに改革努力を傾注しております。

大学改革に関連して、平成10年10月に、当時の大学審議会は「21世紀の大学像」と今後の改革方針について「(答申)を取りまとめました。そのサブタイトルが「競争的環境の中で個性が輝く大学」で、「競争」と



「個性」がキーワードとされました。ただ、7年前には「競争」といわれても、それが「大学淘汰」とは結びつかず、また、「個性」といっても、その内実は「観念的」であったり「画一的」であったりしていました。今年1月、中央教育審議会が、大学のブランド・デザインともいえる「我が国の高等教育の将来像(答申)」を文部科学大臣に提言しました。その中で「個性に乏しい高等教育機関が単一の市場(学生)を巡って競争する」のは効率性に欠けるとして、「各高等教育機関の個性・特色の明確化」を求めました。

本学も、自らの「個性・特色」を明確化しなければなりません。その場合、もちろん「国際社会で活躍し得る有意な人材の育成」という建学の精神を基本とい

「個性」がキーワードとされました。視点を変えて、「答申」に示された例示を参考にすれば、「高度専門職業人育成を含む幅広い職業人養成」に比重を置く「実学志向」の大学という「方向性」の選択が重要です。「方向性」の明示と同時に、特に「教育」の「質の保証」の「実現」のための具体的な施策が不可欠です。ホスピタリティ・ツーリズム学部を充足させ、本学の経営の安定と教育研究の一層の発展を確信しつつ、宮田理事長は、「明海大学業務執行計画・到達目標」を発表されました。この計画と目標は、本学における「実学志向」の「教育」の「質の保証」の「実現」を希求する行動計画です。私どもは、この計画のもとに邁進いたします。教育後援会の皆様のご支援をお願いいたします。

短期留学

に行きました

楽しい思い出ばかり。行ってよかった!

オーストラリア

セントラルクイーンズランド大学に留学

越川里見さん(経済学科3年)



高校生時代から留学を希望していた越川さん。大学選びは「留学制度の充実」。いくつかの大学を調べていくうちに、明海大学の制度が一番と思い入学。そして今年、念願の留学がかなった。

滞在期間は約3週間。授業は、オーストラリアの文化や産業、観光について講義があり、そのあとみんなでディスカッションを交わります。「先生がとてもフレンドリーなので、みんな思いのまま積極的に発言していました。」

最後の授業は各班に分かれてのプレゼンテーション。越川さんがいる班はテーマに「ツーリズムについて」を選択し、クイーンズランド州を中心としたオーストラリア全体の観光について、日本人がオーストラリアを訪れたときにおすすめの観光スポットや、それに伴う費用などを調べ発表しました。「内容は自由でしたが、プレゼンの中で、俳句か演技

週末には明海生たちと、グレートバリアリーフのケツペル島に出掛け、泳いだりシュノーケリングをしたりして楽しんだそう。海がとってもきれいで感動しました」と。

この8月から奨学派遣学生として、UCLAに3週間の留学が決まっている。「前回の留学体験で、英語

力に関しては、生活するに不自由の無いことがわかりました。しかし、もっとコミュニケーションをとりたいという欲もでてきたので、ボキャブラリーを増やしたいと思っています。今はその準備のためTOEICを受けたりして勉強しています」と話してくれた。

「本物の英語を学びたい」

アメリカ・フロリダ州オーランド

セントラルフロリダ大学に留学

隅田健三さん(英米語学科・3年)



セントラルフロリダ大学に43日間の短期留学を体験してきた隅田さん。

「現地で本物の英語を学びたい」と思い留学を決意。中学、高校、大学と英語を勉強し、テキストブックに書かれている英語が、本当に現地で使われているのか知ることができたと言います。

「日本で教えている外国人の先生は日本に慣れているので、日本人が話す英語を理解する力があり、自分が話す英語が実際に通じるのかどうか試したかった」とも。

アメリカへ行き、隅田さんの英語は通じたそうだが、若い人はスラングが多く、一度聞いただけでは理解できず、話が通じなかったそう。

授業は、リーディングやライティング、文法など基本的なことから、先生が新聞から面白い記事を紹介し、

それにどう思うかを、みんなでディスカッションしたり、TOEFL(英語圏の大学に入るためのテスト)の点数が上がるように、分厚い教科書の中から重点的に勉強する箇所を指導してもらった。また、滞在中にスプリングブレイクという春休みが一週間あったが、明海生には特別な授業を開いてくれ、難しい文法やフロリダの歴史について学ん

だそう。大学の寮では、アメリカ人2人とナイジェリア人の4人での共同生活。「入寮する前は、どんな人がルームメイトになるか不安でした。知らない人と生活するのは大変で、最初の3日間は、腸の調子が悪く辛い思いもしました。しかし、ナイジェリア人がとても親切で、洗濯機や風呂の使い方などいろいろ助けてくれたそう。

土曜日の休みには、先生と共にテーマパークやショッピングに出かけた。「湖に行きカヌートリップを体験しましたが、湖がとても美しく感動し、みんな泳いだことが楽しい思い出となっています」

最後に、これから留学する人にアドバイスとして「健康に気をつけることが一番大切だと思います。また、ルームメイトから日本のことを聞かれるので、日本の写真などを持っていくとコミュニケーションがとりやすいと思いますよ」

今後どこかに留学したいと思ってる隅田さん。「英語を勉強しよう、とばかり考えるとプレッシャーになると思うので、留学を楽しんで、結果として英語が上達していればいいと思います」と話してくれた。

ホストファミリーになっていた方を探しています。

本学は多くの留学生を迎えており、短期研修で日本を訪れる留学生や在学している留学生に対して1泊程度のホストファミリーになっていた方を探しています。

現在、ホストファミリーをお願いできるのは約20人。大学はホームステイ先を確保するのに大変苦労をしています。

短期研修に関しては千葉県内及び大学近辺にお住いの方を希望していますが、在学留学生が旅行をする際にもかまいません。来日する留学生にとってホームステイは貴重な体験となり、とても思い出に残るそうです。

なお、ホストファミリーは登録制となっておりますので、ご協力いただける方は事務局までお願いします。

リーディング産業で活躍できる 人材づくりを目指して 日本で初めての ホスピタリティ・ツーリズム学部誕生

今年4月に、浦安キャンパスに新しくホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科が誕生した。21世紀のリーディング産業の一つとなるツーリズム産業、ホスピタリティ産業で活躍できる優秀な人材を送り出すことを目標に、ホスピタリティ産業に国際的な見地から焦点をあて、企業や地域社会と連携した実践的なカリキュラムを展開している。

新学部は、「選ばれる大学び」の一環として「大学び」の指針(04年2月)に基づき、国家的要請である「観光立国施策」に関連する「ホスピタリティ・ツーリズム学部学科」の設置が提案され、学部増設準備委員会(委員長：増岡由弘常務理事)で、検討してきたもの。昨年7月に、文部科学省に設置申請(届出)を行い、承認(受理)されたもので、日本初の学部となる。

第一線で活躍する実務家による 徹底した実践教育

ホスピタリティ・ツーリズム学部では、何を学ぶのだからか。航空、ホテル、旅行、リ

業をフィールドに、実社会で必要な英語とビジネスマナー、顧客満足度を高めるための実践的な手法、国際ビジネス、リスクマネジメント、人的資源管理などのマネジメントなどを幅広く学べる実学・実践的学部なのである。

また、将来の就職を意識したカリキュラムとなっていて、英語力のほか教養やビジネススキルなども習得でき、ホスピタリティ・ツーリズム産業はもろろんのこと、幅広い分野の進路に対応できそうだ。

そして、実社会で通用できる人材を輩出することを教育方針に掲げ、すべての授業で厳格な成績評価が行われる。例えば、1年から2年に進級するためにはTOEIC500点以上、2年から3年に進級するには600点以上のスコアを取っていないと進級できない。

このシステムで特徴的なことは、TOEICの公開テストとIPテスト(団体特別受験制度)を年5回受験することが義務づけられていることにある。また、学生の学習をサポートするため、同僚部専任教員による学習コンサルティングやTOEICの目標スコアを達成できなかった者への実力養成特別講座の開設など、きめ細かい教育が展開されている。

この4月に第1期生を迎えたホスピタリティ・ツーリズム学部だが、志願者数は869人(定員200人)で志願倍率は4.3倍となり、注目度の高さが伺える。すでに授業もスタートしているが、学生たちから「思ったより課題が多く大変」「TOEIC500点取れるか心配」といった感想が聞かれるという。

ホスピタリティ・マインドをもつて学部運営を

ホスピタリティ・ツーリズム学部長 草野 健教授

今年度、新設されたホスピタリティ・ツーリズム学部の学部長に就任した。

「大学もサービス業として位置づけられる時代。学生を顧客としてとらえ、大学や教員がホスピタリティ・マインドをもつて接することはそれまでエアラインやホテルでやってきたことの延長線上にある。これまで培ってきた経験が活かされる場だと思ったので」

「学部に関係する教員の間で情報を共有し、学生に対して均質なサービスを提供できるようにするのが目的です。最終的には一人一人の学生が満足するよう、個別の対応が必要で、その部分は先生方のパーソナリティにまかせるところが大いなのですが」

「ただ、お客様と接しているとクレームを受ける時もある。そういう場面でもめげないで、プラス思考で気持ちを切り替えられる、打たれ強い人にもなってい

「究極のサービスは自分の個性をいかに出すかに尽き、人によるサービスは欠かすことができません。だからサービス業界では常にいい人材を求めているのです。そういう所で活躍できる人をたくさん育てたいですね」と先生。

「資格等取得 TOEIC、秘書検定、東京シティガイド検定、国内・総合旅行業務などの資格取得に関連した授業を行っている。」

「(通称：社長講座) ホスピタリティ・ツーリズム関連産業のトップを招き、毎週特別講座を実施している。 ●少人数制ゼミ ナールによる教育 と就職支援 きめ細やかな教育の中核となるのが全員必修の少人数制ゼミナールだ。ここで大学生活における友人づくり、学生生活全般の相

Interview



草野 健(くさの たけし)／46年6月福島県生まれ。70年3月東京大学法学部卒業。同年4月日本航空株式会社入社。ニューヨーク支店、本社旅客運送部、ホノルル支店勤務を経て、97年5月株式会社JALホテルズ開発本部部長。98年6月株式会社ホテル日航アンブリ代表取締役社長(総支配人兼任)。02年7月NIKKO HOTELS(UK)Ltd. 代表取締役社長(ザ・モントカーム ホテル・ニコロンドン社長)。

「大学もサービス業として位置づけられる時代。学生を顧客としてとらえ、大学や教員がホスピタリティ・マインドをもつて接することはそれまでエアラインやホテルでやってきたことの延長線上にある。これまで培ってきた経験が活かされる場だと思ったので」

「学部に関係する教員の間で情報を共有し、学生に対して均質なサービスを提供できるようにするのが目的です。最終的には一人一人の学生が満足するよう、個別の対応が必要で、その部分は先生方のパーソナリティにまかせるところが大いなのですが」

「究極のサービスは自分の個性をいかに出すかに尽き、人によるサービスは欠かすことができません。だからサービス業界では常にいい人材を求めているのです。そういう所で活躍できる人をたくさん育てたいですね」と先生。

「資格等取得 TOEIC、秘書検定、東京シティガイド検定、国内・総合旅行業務などの資格取得に関連した授業を行っている。」

「(通称：社長講座) ホスピタリティ・ツーリズム関連産業のトップを招き、毎週特別講座を実施している。 ●少人数制ゼミ ナールによる教育 と就職支援 きめ細やかな教育の中核となるのが全員必修の少人数制ゼミナールだ。ここで大学生活における友人づくり、学生生活全般の相

「1時間30分の中で、食材の下ごしらえから後片付けまでと時間の無い中、事前打ち合わせした担当をこなしていく学生。しかし、10分、15分と時間が経つてもなかなか火が点かないグループも。『新聞紙をもつと入れたほうが』。着火材が必要なのは...』など、その場の対処をみんなで考



「プレゼミナール」

「プレゼミナール」
ホスピタリティ・ツーリズム関連産業のトップを招き、毎週特別講座を実施している。

「1時間30分の中で、食材の下ごしらえから後片付けまでと時間の無い中、事前打ち合わせした担当をこなしていく学生。しかし、10分、15分と時間が経つてもなかなか火が点かないグループも。『新聞紙をもつと入れたほうが』。着火材が必要なのは...』など、その場の対処をみんなで考

「『プレゼミナール』
グループワーク実践!
える。と、そこに、他のグループの学生が「バーナーがあるよ」と手助け。一つのことをみんなで打ち合わせし実践していく中、多くの会話と思いが生み込まれた。参加した学生は「ゼミのみんなとコミュニケーションがとれた。これから力を入れて頑張りたい」と話してくれた。



「プレゼミナール」

「課題が多くて大変」 学生たちの反応に手応え

この4月に第1期生を迎えたホスピタリティ・ツーリズム学部だが、志願者数は869人(定員200人)で志願倍率は4.3倍となり、注目度の高さが伺える。すでに授業もスタートしているが、学生たちから「思ったより課題が多く大変」「TOEIC500点取れるか心配」といった感想が聞かれるという。

ホスピタリティ・ツーリズム学部運営担当オフィサーの中山浩之学事企画室長は、「ホスピタリティ・ツーリズム産業を目指すうえで、将来の夢がしっかりとある学生が多いと感じ、学部の雰囲気は明るく前向き。これからの成長が楽しみです」と話してくれた。

ホスピタリティ・ツーリズム学部では、何を学ぶのだからか。航空、ホテル、旅行、リ

学内企業セミナー

参加者は過去最高に

5月30日から6月1日の3日間、「学内企業セミナー」が開催された。今年度の参加企業数は99社、3日間の内に参加した学生は287名と、3年目にして最高の参加人数になった。これは「ジョブハント13」という、就職活動をしている学生に、直接メールでセミナー参加を呼びかけるシステムによるものと、キャリアサポートセンターの担当者は話してくれた。

参加した経済学部学生は、「今日は、話を聞いてみて面白みのある



「小売業の担当者」
 今年度は採用活動が早い感じがします。採用状況は昨年と同じですが、内定を取れる人とそうでない人がはっきりと分かっています。当社は、一年間に20名ほど採用しており、今年も明海大学から一人採用しています。人材の採用基準は小売業です。面接をしてみても販売に適している人柄かどうか判断しています。面接をしていくと就職に対するモチベーションが高いか低いか話しただけですぐに分かる

人事担当者に採用のポイントを聞きました!

「小売業の担当者」
 全体で100名の採用を決めています。最近の学生は「働かない」というイメージがありますが、このような説明会に参加していると就職意欲があることがよく分かります。今日も学生は真剣に説明を聞いてくれました。店舗運営のできる人材を探していますので学部は問わず、明るく元気で、第一印象の良い人であれば面接をして採用したいと思います。

「技術系アウトソーシングの担当者」
 当社は技術系アウトソーシングの会社ですが、営業

職は専門知識がある人より全く業界を知らない人のほうが教えられるので説明会に参加しました。今までに明海大学からは採用しておりませんが、もう一歩で採用というところまでできていたと思います。採用したいと思っています。採用のポイントには、「この会社に入りたい」という信念を持って話を聞きに来る学生がいいですね。こちらから一つ話をすると、2、3の答えが返ってくるような人前向きで、言葉がハッキリしている人などが採用されるのではないのでしょうか。就職に対すること2、3年の学生の傾向ですが、インターネットで調べ企業を絞ってセミナーに参加する人が多くみられます。今回のような説明会では、友人と聞きに来るのでなく、一人で参加している人に興味があります。

という学生が減っている」と危惧する。「失敗するのが問題ではなくて、失敗からどう立ち上がるかが大事。そして立ち上がることを誰かが見てくれるから、それを信じて努力してほしい」と学生にアドバイスをするという。

誰かが見ていることを信じ、努力してほしい

副学生部長 中城康彦先生

新学部が開校し学生が多様化して業務が増えたこと

から、今年4月から副学生部長の役割が新設され、初

代に就任。今のところは事務仕事が多いが、サーマーカーンなどの行事に参加し、学生たちと直接ふれあうことを楽しみにしているという。

「ご自身にも大学2年生のお子さんがいて、学生たちと重なる部分もある。「よく言えばおおらかに育っているのですが、一方で意欲や立ちはだかるものを克服する克己心に欠けるところがあると感じます。今の若い人の気質ですかね」



1954年高知県生まれ。名古屋工業大学建築科卒業、同大学院修了。その後福手健夫建築都市計画事務所、(株)日本不動産研究所、UARNZ AMERICA, Inc. (株)スペースフロンティア設立代表取締役を経て平成6年、明海大学不動産学部へ。主な著書は「サスティナブル・コンバージョン」(共著、プログレス)、「コモンでつくる住まい・まち・ひと」(共著、彰国社)など。

「社会がそうだと思うので。ビジネスでは一度断られても、目的を達成するまで何度でも交渉しなければならぬのですから。完成まで付き合うのは確かに手間はかかる。「でも、それが人育てです」。

しかし、「以前に比べて試験に立ち向かっていこう

2005年度 第1回 キャリアガイダンス

年4回行われる就職ガイダンスの第1回目が6月11日(土)に行われた。

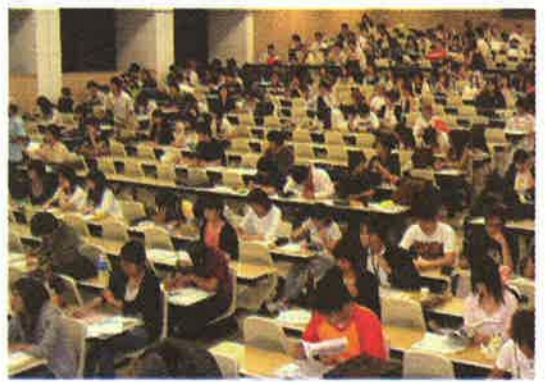
まず、山本キャリアアサポート副センター長が、就職環境として2006年3月卒業生の見通しとして、企業が2005年3月、団塊世代の退職への備えを含めて採用意欲も上昇しているとし、決算で収益が改善され好調の企業も多いと話した。このあと、企業の採用動向や本学の就職状況、また、夏季インターシッ

について説明した。

続いて、船木キャリアアドバイザーからは、企業の採用スケジュールと就職活動の進め方として、採用情報公開やエントリー開始が10月からの開始に、なぜ今から準備をしなければならぬのかを説明。「就職活動では、初対面の人に「自分」をわかってもらう必要があるため、今からエントリーに備え、自己分析、自分の特徴や長所、短所をまとめ、この時期に再度自分

を見つめて欲しい」とアドバイスがあった。また、企業が望む人材として、採用時に重視するポイントとして①積極性②責任感③コミュニケーション能力の順番になり、学生が気にするアルバイト経験の有無、大学名、資格の有無は、20項目中、それぞれ18、19、20位であると紹介。何のためにどのような取り組みなのかという過程が重要であると話した。

この後、各担当者よりコンピュータ診断(自己分析)の登録方法やSP I模擬テストなどについて説明が行われた。今回は10月1日に行われ



明海大学PDI浦安歯科診療所



今年の3月9日、浦安キャンパスに開院した「明海大学PDI浦安歯科診療所」

所が3カ所目となる。平成18年からは1年以上の卒業研修が義務付けられるため、歯学部学生にとっては重要な施設となっている。

「PDIとは卒業後の研修所」という意味。明海大学(他大学も可)の歯学部を卒業した学生が研修を積み施設として、昭和55年に埼玉県入間市に開院して以来、浦安歯科診療所が、開院して以来、高度な技術が必要とされている「インプラント(人工歯根療法)」に対しては、万全の体制を整えている。

開院から約4カ月がたち、地域住民に加え浦安キャンパスの学生、教職員の利用も増えてきている。歯学部事務部長事務課の田中課長は、「今年度は浦安キャンパスの歯科検診を担当させていただき、また、オープンキャンパス時には「虫歯発見コーナー」を設けアピールしました。今後は学園祭にもブースを設ける予



手術用の個室



身障者用の個室

定ですので、その際は是非お立ち寄りください」と話してくれた。

学生、教職員のみならず、大学から一番近い歯科診療所をご利用ください。

■診療時間
 午前10時～午後12時30分
 午後1時30分～午後6時30分
 ■新患・急患受付
 午前10時～午後12時
 午後1時30分～午後5時30分
 ■休日・祝日・年末年始
 ・創立記念日

学友会 各委員長に聞く

中央委員会 委員長
小倉洋英さん



今までの活動は委員会内部や大学の一部分など、限られた、見えにくい範囲での活動に追われ、なかなか皆さんの前に立ち活動する機会や時間を作る事が出来ませんでした。

今年度は各委員会への協力を始め、様々な部活・サークルの支援をしていきたいと考えています。...と言っても今の中央委員会の人数は4人！各団体の支援(約90団体)・全学生向けの行事運営(ほぼ毎月)・教職員との会議(何年度でも)・浦安市役所に赴き防犯や環境保全についての取り組み(今後も増えそう)など出来る事は盛りだくさん!!...って歌い文句でアナタのお知り合いを誘ってくれないですか? 僕達人数いなくてピンチです。

体育会連盟会 会長
武田悠生さん



体育会連盟会とは簡単に言うと体育会系部活動、同好会、サークルをまとめている委員会です。役員は部活動団体に所属している部員から構成されています。現在、21人で活動しています。委員会という固いイメージがありますが、体育会連盟会の役員はそれぞれが部活をやっている、一人ひとり個性があるのでいつも笑いが絶えません。

体育会連盟会では所属団体の管理も行ないますが、年間に行なわれる行事の企画・運営を行なっています。主な行事として、4月:新入生歓迎会、女子部新入生歓迎会 5月:フレッシュマン研修会 7月:体連リーグズ研修会 12月:体育祭 3月:部活動成績発表会

この他にも毎月1回の定期例会、月末地域清掃なども行なっています。

学術文化連合会 会長
下川翔さん



皆さん文化系団体といつてどんな活動を思い浮かべるでしょうか? 現在、明海大学の学術文化連合会には11の団体が日々、技術の向上を目指して活動しています。そんな団体の活動をサポートし、より活発な活動が行なえるよう頑張っています。

具体的な活動としては、6月に活動発表を行なう場としてクラブフェスティバルを行い、多くの学生の方に参加してもらいました。また、今年度は地域の方にもクラブフェスティバルを知ってもらおうと市民プラザ4階WAVE101を借りての活動発表も行ないました。後期も昨年度からはじめた新イベントの内容をより充実させ、より楽しく活動を行なっていきたいと思っています。

学園祭 実行委員会 委員長
権藤宏樹さん



今年度の明海祭は11月4日、5日、6日の3日間、テーマは「笑顔」です。皆さんが笑顔になる時とはどんなときでしょうか? 笑顔というものはお腹の底から

笑うとその人の100%の笑みが見られます。このテーマは「明海祭に来場していただく全ての皆様が、明海大学の学園祭を通じ、新たな出会いや発見など、心から楽しんで笑顔になつて欲しい」という願いが込められ、そんな皆さんの最高の笑顔が見られるよう、61人の実行委員がたくさんの企画と満面の笑顔で迎えます。

今年の新たな試みとしては、毎年目玉であるコンサートやお笑いLIVEといった企画を、出来るだけ明海生の声に込められるよう、大学内でアンケートを実施し、生の声を取り入れることにより明海生の参加、来場の増加を図り、タイムリーな企画からレトロな企画まで幅広い層の方々に楽しんで頂けるような企画を創っていきます。朝のオープニングセレモニーのパレードからファイナルパーティーの打ち上げ花火まで目の離せない企画を用意してお待ちしております。

今年度の新たな試みとして、6月に活動発表を行なう場としてクラブフェスティバルを行い、多くの学生の方に参加してもらいました。また、今年度は地域の方にもクラブフェスティバルを知ってもらおうと市民プラザ4階WAVE101を借りての活動発表も行ないました。後期も昨年度からはじめた新イベントの内容をより充実させ、より楽しく活動を行なっていきたいと思っています。

留学生連合会 会長
孟レイレイさん



留学生連合会の活動は、5月のゴールデンウィークに大学近くの公園で、新入生の留学生約30人とパーベキューをして親睦を深めました。また、大学内にあるレストランでウェルカムパーティーを開き、新入生、留学生、日本人学生約300人が集まり、ダンスや歌

を披露し楽しみました。6月はサッカー大会を開催し、8月には初めての試みですが、千葉県銚子市で学生会を持たない国の人が寂しい思いをしないように、合宿をする予定です。また、このときを利用して役員の研修を行なう予定です。

9月には新浦安祭りに、韓国と中国の屋台を出し、10月には地域の少年サッカーチームなどを迎えて行なうお月見パーティー、11月には学園祭参加、12月は新しい試みで、お正月パーティーと題して、各国の衣装を着てパーティーを行なう予定です。

この他、浦安福祉センターの盲人留学生交流会でボランティアとして参加。近隣の小学校に行き、国の紹介や遊びを教えるに行っています。参加した小学生全員から手紙をもらい、楽しい思い出と共に、その手紙を大切にしています。

今年度は名称を「新聞委員会Voice・M」に変更し、さらに新規事業として「壁新聞」の発行を始めました。この「壁新聞」は今までのVoice・Mとは異なり、発行に時間がかからず情報が新鮮なまま伝えられるというメリットがあります。6月末で全15号の発行をしており、これは今年度に入り週に1号発行しているペースになります。

また、この壁新聞の記事を使い、Voice・Mを作成する予定です。さらにVoice・Mの製版も、カラー印刷機の導入に伴い

新聞委員会 委員長
吉田美幸さん



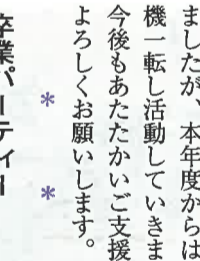
今年度は名称を「新聞委員会Voice・M」に変更し、さらに新規事業として「壁新聞」の発行を始めました。この「壁新聞」は今までのVoice・Mとは異なり、発行に時間がかからず情報が新鮮なまま伝えられるというメリットがあります。6月末で全15号の発行をしており、これは今年度に入り週に1号発行しているペースになります。

また、この壁新聞の記事を使い、Voice・Mを作成する予定です。さらにVoice・Mの製版も、カラー印刷機の導入に伴い

その手段がサッカーでした。私はスタッフとして3年前から関わっています。国際

学内で始めます。近年の本委員会の活動は皆様に不信感を与えておりましたが、本年度からは心機一転活動していきます。今後あなたかご支援をよろしくお願いいたします。

卒業パーティー 実行委員会 委員長
黒宮優子さん



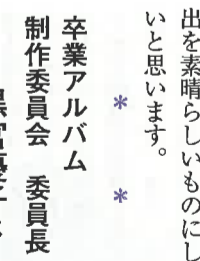
卒業アルバム制作委員会では、多くの卒業生に喜んでいただけるような写真提供を心掛けています。そのために、一人でも多くの方の写真を残すよう、各行事へ参加し、撮影していただきます。また、今年度の卒業生だけでなく、4年間の思い出を楽しめるよう、在学生も撮影し、記録に残しています。

今年度の卒業パーティーは、3月23日(木)にシエラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルで開催します。今回の卒業パーティーも、来て下さった皆さんの心に残るものを創りたいと、委員一同頑張りたいと思います。なお、今年のテーマです

「Meikai Graduation Party」

2005・Only TIME-1に決定しました。皆さんの大切な明海大学での最後の思い出を素晴らしいものにしたと思います。

卒業アルバム 制作委員会 委員長
黒宮優子さん



卒業アルバム制作委員会では、多くの卒業生に喜んでいただけるような写真提供を心掛けています。そのために、一人でも多くの方の写真を残すよう、各行事へ参加し、撮影していただきます。また、今年度の卒業生だけでなく、4年間の思い出を楽しめるよう、在学生も撮影し、記録に残しています。

その手段がサッカーでした。私はスタッフとして3年前から関わっています。国際

スノーキャンプ 実行委員会 委員長
青木美葉さん



毎年多くの学生の皆さんに参加していただき大盛況を取っているスノーキャンプ。今年も第12回スノーキャンプを平成18年2月6日(月)〜10日(金)の3泊4日を予定しています。今回は、かなりバジョアップします。何がバジョアップするのかわからない? 何と料金がお得になるだけではない! 様々な特典がいっぱい! 様々なイベントも計画中です。後期より貼り出されるポスターやスタッフが配布するピラをご覧ください。参加したことが無い1、3年生の皆さん! 新しい友達作りをしませんか?

4年生の皆さん! 学生生活最後の思い出を作りますか? 明海大学ならではのスノーキャンプ。安くて楽しくて☆思い出が作れて☆友達が増えて☆ごはんが美味しく☆スノーボード&スキーが格段に上手くなるスノーキャンプ。明海の学生なのに参加しないのは絶対に損ですよ!! ぜひ一度、リニューアル&バジョアップした第12回スノーキャンプに参加してみてください。損はさせません!

多くの学生の皆さんとお会い出来ることをスタッフ一同心よりお待ちしております。

交流にキックオフ 明海大学 親善サッカー大会



名留学生がいます。その留学生が他の大学や地域の人と交流を求めています。

「交流にキックオフ」として女子留学生の韓国対中国、明海大学留学生対教職員の競技が行なわれ、会場は大歓声。孟レイレイさん(日本語科4年)は「明海大学には約700

さん、「韓国ワールドカップ開催の年に親善サッカー大会の開催を提案しました。目的は多くの人と交流したかったからです。」

日本語、韓国語、中国語で放送される大会進行案内。それを聞きながら英語も加わりグラウンドのあちこちで国際交流の輪が見られた。

大会の結果 優勝 国士舘大留学生チーム 準優勝 明海大留学生チーム 三位 浦安少年サッカー コーチチーム

若者の力で 防犯意識アップ!

合同パトロールに 100人の学生が参加

6月17日(金)、浦安警察署が行なう合同パトロール「UP (URAYASU POLICE) フライデー作戦」出動式に、小倉洋英学友会会長をはじめ100名の学生がボランティア参加した。

浦安市内では、金曜日に事件や事故が多く、今までも警察官を多く動員し、少年補導やひったくり、空き巣など公共空間での犯罪抑止の活動をしてきた。

当日は、市防犯担当者、学生防犯委員会V5 (明海

大学、東海大学浦安高校、浦安高校、浦安南高校、東京学館浦安高校、浦安警察署、警察少年ボランティア、青少年補導員が参加。UP (浦安警察)「アップ」市民の防犯意識アップ・検挙率アップにかけたUPフライデー作戦が多くの賛同者を得て活動が広がった。

平野彰三警察署長は「春から路上犯罪、車上狙いが増加傾向にあります。合同パトロールの目的は市民の防犯意識向上です。若者が町をパトロールするのは喜

ばしいことです。市民の目がパトロールする若者を見て自ら防犯の意識向上につながることを願っています。浦安市から犯罪がなくなるまで活動を続けたい」と学生の防犯活動に期待をよせた。

参加した学生は、「帽子をかぶり、旗を持って歩くのもいいが、メガホンで防犯を訴えながらのパトロールもいいと思います」と積極的に話す。小倉学友会会長は、「地域とのつながりを強めたいので、月1回行



われる会議やパトロールに積極的に参加したい」と話してくれた。



中国語や韓国語、フランス語などが学べる「教育・教養」。パソコンや秘書技能、販売士などの資格取得のために学ぶ「実務・ビジネス」。書道や絵画、押し花など、楽しく学べる「生活・趣味」。テニスや水泳、エアロビクス、ヨガなど健康的に学べる「健康・スポーツ」の大きく4つのカテゴリーからなるオープンカレッジの講座数は全部で160。

オープンカレッジの主な利用者は学生と教職員だが、地域で暮らす人のために、本学がめざす「社会に開かれた大学」の主旨により、教育諸施設を本学の学生と教職員と共に利用できるメ

「教育後援会からのお知らせ」

- 卒業生に贈呈している「卒業アルバム」の送料が、2005年度卒業生より自己負担となります。宅配便の着払いでお届けします。
- 学内報「MEIKAI」の各家庭への郵送を、今年度より中止させていただきます。



平均身長172.3cmという、大学のチームにしては小柄な男子バレーボール部。

部員数は、4年1名、3年4名、2年1名、1年3名とマネージャー1名の9名と少なく、「経験、未経験を問わず、いつでも歓迎します」と話す部長の結城さん(3年・経済学部)。

部の方針は「楽しく自由に選手に任せるのが基本」で、各自が足りないと感じ

重要ですが、身長が低いのでボールを拾うしかないで、レシーブも重視しています」と。

関東大学バレーボール連盟に加盟し、3年前は8部だったのが年々順位を下げ、



6月13日から18日まで、明海大学学術文化連合会による「クラブフェスティバル」が開かれた。最終日の18日(土)には、京葉線新浦安駅にある、市民プラザWAVE101の大ホールで学生たちによる各クラブやサークルの発表が行われた。

この催しは、日ごろの活動の成果を発表するために毎年校内で行っているもの。今年も「広く市民のみならずにも見てもらい、もっと交流を深めたい」との思いもあり、WAVE101で

も発表を行った。

会場では、吹奏楽部や軽音楽部の演奏が行われたほか、研究成果を発表するクラブの掲示物も多く見られた。茶道同好会は、台湾からの留学生も浴衣を着て来場者に抹茶をふるまう。「日本の茶道は難しいけど奥深く楽しいです。でも、着物は少し暑いですね」と参加者。

学術連合会副会長の福井信宏さんは、「近年、学外での発表は行われておらず、昔の資料をもとに準備をしました。経験者がいないために苦労しました」と話す。

また、地域住民の見学者が思っていたより少なかったことについては、「事前告知や当日の誘導が行き届かなかった原因因だと思えます。来年以降、今回のフェスティバルを教訓として活かし、良い物に仕上げたいです」と意気込みを語ってくれた。

という一般会員がある。学生が運動施設を利用する場合は、健康診断を受診していれば可能で、登録すれば1回100円でプールやジム、スタジオ、バスルームなどが利用できる。学生の中には、軽音楽サークルや茶道部は課外活動団体として、スタジオ、和室を無料で使用している。

また、宅建や販売士などの資格取得講座は一般料金の半額で受講でき、宅建であれば2万円、4万円と、ダブルスクールとして利用する学生が多い。

在約2300人。講座受講料が半額になるなど、特典も多くなっている。運動系で人気の講座は、学生がコーチアシスタントを務め、地域の方とコミュニケーションを取りながら楽しく学べるテニス。その他、水深5mのダイビング専用プールを使用し、基礎から学べる「スクーバダイビング」は、約6万5千円で資格が取れるとあって、遠く横浜から通っていた人がいるほど、どこよりも安く、充実して学べる講座。

語学講座も充実していて、日本語教師をめざす人やボランティアとして外国人に日本語を教えている人のために開かれている「日本語教育」が人気で、この講座は本学の水谷信子教授が中心となって教えている。充実した設備と明るいスタッフのいるオープンカレッジを、ぜひご利用ください。



男子バレーボール部

平均身長172.3cmという、大学のチームにしては小柄な男子バレーボール部。部員数は、4年1名、3年4名、2年1名、1年3名とマネージャー1名の9名と少なく、「経験、未経験を問わず、いつでも歓迎します」と話す部長の結城さん(3年・経済学部)。

部の方針は「楽しく自由に選手に任せるのが基本」で、各自が足りないと感じるところを練習し、毎週月・水・金と土曜の午前中には合同で練習をしている。その他の日は、地域のママさんバレーの手伝いをしながら練習する部員もいる中、アルバイトで忙しい部員もいるそうだ。

目下の課題は攻撃力。得点力アップのために、チームで唯一180cmを超えるエースの吉原さん(3年・経済学部)を中心に、スパイクの練習をしている。また、大学に入ってからバレーボールを始めたというリベロの勝山さん(3年・経済学部)は、「得点力も重要ですが、

春の大会では、なんとか11部(1部は13部は各8チーム。14部は12チーム)に留まった。

連盟の入替えに伴うチャレンスは2回。秋の大会は9月下旬、10月にかけて行われ、8チームの中で1位なら10部に昇格し、2位なら入れ替え戦で勝れば昇格できる。

ライバルは「國學院大学ですが、下部から上がってきたチームが強いので、大会が始まってみないとわかりませんが、上を目指しがんばります」と、結城キャプテンが力強く話してくれた。

学術文化連合会
地域住民にもアピール!!
「クラブフェスティバル」開催



2004年度明海大学浦安キャンパス教育後援会学生表彰者

1.表彰対象①			功 績
氏 名	学 科		
1 西田 彩香	日 本 経 済		2004年12月に「Twinkle, twinkle, lucky star」等の舞台に出演
2 大星 雅可	日 本 経 済		「土地家屋調査士」「宅地建物取引主任者」「FP技能士」などの23の資格を取得
3 佐藤 光宏	日 本 経 済		2002・2003年度にスキー部主将を歴任し、2002年度からは国民体育大会選手(2005年度は監督)として参加するなど優秀な成績をおさめた。
2.表彰対象②基準B-1			功 績
氏 名	学 科	所属団体	
1 小野原 幸一	日 本 経 済	空手道部	2004年度空手道部主将として貢献した
2 佐久間 博文	日 本 経 済	極真空手部	2002年度極真空手部主将として貢献した
3 酒井 聖合	日 本 経 済	極真空手部	2003年度極真空手部主将として貢献した
4 中村 拓	日 本 経 済	ゴルフ部	2003・4年度ゴルフ部主将として貢献した
5 堀口 俊雄	日 本 経 済	サッカー部	2004年度サッカー部主将として貢献した
6 細井 晶子	日 本 経 済	女子硬式テニス部	2004年度女子硬式テニス部主将として貢献した
7 細川 泰子	日 本 経 済	女子ラクロス部	2004年度女子ラクロス部主将として貢献した
8 石井 慧	日 本 経 済	水泳部	2003年度水泳部主将として貢献した
9 黒澤 一斗	日 本 経 済	男子硬式テニス部	2004年度男子硬式テニス部主将として貢献した
10 伊賀 麻美	日 本 経 済	チアリーディング部	2002・4年度チアリーディング部主将として貢献した
11 沼 俊輔	日 本 経 済	バイク部・自転車部	2003年度バイク部・自転車部主将として貢献した
12 和田 幸也	日 本 経 済	バレーボール部	2002・3年度バレーボール部主将として貢献した
13 西村 秀太	日 本 経 済	ラグビー部	2004年度ラグビー部主将として貢献した
14 志水 達一	日 本 経 済	E. S. S英経会	2003年度E.S.S英経会会長として貢献した
15 木村 成男	日 本 経 済	軽音楽部アリーナ	2003年度軽音楽部アリーナ部長として貢献した
16 釜 賢	日 本 経 済	茶道部	2003年度茶道部部長として貢献した
17 川口 暁士	日 本 経 済	情報処理研究部	2003年度情報処理研究部部長として貢献した
18 川瀬 健太郎	日 本 経 済	吹奏楽部	2003・5年度吹奏楽部部長として貢献した
19 海宝 学	日 本 経 済	ワンダーフォーゲル部	2003年度ワンダーフォーゲル部部長として貢献した
20 金 大石	日 本 経 済	KOREAN学生会	2003年度台湾国際交流会会長として貢献した
21 陳 凱	日 本 経 済	台湾国際交流会	2003年度台湾国際交流会会長として貢献した
22 曾 高	日 本 経 済	台湾国際交流会	2004年度台湾国際交流会会長として貢献した
23 陳 平	日 本 経 済	中国留学生会	2003年度中国留学生会会長として貢献した
24 馬 平	日 本 経 済	中国留学生会	2004年度中国留学生会会長として貢献した
2.表彰対象②基準B-2			功 績
氏 名	学 科	所属団体	
1 村田 まい	英 語	学友会	2003年度学友会副会長として貢献した
2 橋本 一樹	英 語	学園祭実行委員会	2003年度学園祭実行委員会委員長として貢献した
3 大山 昌	英 語	体育連盟	2003年度体育連盟会長として貢献した
4 榊 浩己	英 語	学術文化連合会	2003年度学術文化連合会会長として貢献した
5 李 起協	英 語	留学生連合会	2004年度留学生連合会会長として貢献した
6 増田 和美	英 語	卒業パーティー実行委員会	2004年度卒業パーティー実行委員会委員長として貢献した
7 藤戸 浩一	英 語	卒業アルバム制作委員会	2004年度卒業アルバム制作委員会委員長として貢献した
3.表彰対象③			功 績
氏 名	学 科		
1 水野真沙未	英 語		2003年12月10日～現在(毎週水曜日10:00または14:00)単位認定に関係なく浦安市浦安指導教室(いちょう学級)にて不登校児の学習・生活指導の補助活動

大学と家庭が一体となって、就職戦線を考えよう

3年生の保護者対象に就職懇談会開催

6月18日(土)浦安キャンパスで、就職を控えた3年生を対象とした就職懇談会が開催された。教育後援会の重要な事業の一つであり、就職という保護者にとっては最も関心の高いテーマということもあって参加者は年々増加傾向。今年約250人の保護者と学生が参加した。

まず、鈴木陽夫教育後援会会長が、「景気の回復傾向を受けて採用数は増加している」と聞いています。しかし企業の厳選採用は依然続いていて、学生にとって厳しい状況は何ら変わっていないということ。このように時だからこそ学生、大学、保護者が一体となって就職戦線を考えていかなければなりません。今日はその絶好の機会だと思えます」とあいさつした。

次に、大学を代表して成瀬副学長がスピーチ。「学生は入学した時から、PDP、SDPのカリキュラムを通して将来の進路に関する動機付けが行われる。2年生以降はインターンシップを体験したり、キャリアサポートセンターからの情報で企業との接点を持つなどして、就職活動に入る前から社会情勢を肌身で感じられるようサポートしている」と、大学の教育の中での就職に関する取り組みについて説明。「就職状況は厳しいが、なるべく多くの学生が職に就けるように、大学も一丸となって力を尽くしています。保護者のみなさんにもご協力をお願いいたします」と述べた。



「今年3月に卒業した大学生は55万人。うち就職が内定したのは34万人で、21万人は就職していないことになり、このうちの多くがフリーターになったと推測される」と文部科学省の調査を引用し、「フリーターで生計を立てていくのは非常に困難。また、若いうちに研修を受けて技能を磨くという企業のシステムに乗れないのは学生の将来に大きな問題を残すことになると思う。本学ではフリーターにさせないため学生の就職を支援するキャリアサポートセンターを立ち上げ、これまで個別に動いていた学部、就職支援、総合教

育センターが連携してサポートする体制をしいている」と述べた。

同センターの具体的な支援としては、①キャリア総合ガイダンス②対象別ゼミ、ガイダンス③適性診断システム④テーマ別支援施設⑤

企業が求めているものは？

進路決定に際して

必要な家庭のサポート

本学の就職講座で講師を務めていただいていた、人材採用コンサルタントの菊地信一氏が講演を行った。菊地氏は長年、人材採用を

テーマに、採用戦略・計画に関するコンサルティングを行っていて、企業と学生の両者を知り尽くした本音のアドバイスが特徴で好評

を博している。この日は、「進路決定に際して必要な家族のサポート」と題して講演を行った。

まず、「団塊の世代が定年退職を迎える2007年が近づいていて、就職に関しては明るい兆しが見え、学生1人に対する有効求人倍率が1.6社という数字が出ています。しかし、企業は一定水準のレベルに達していない学生は採用しないというシビアな厳選採用を始めています」と今年の就職戦線を分析。

このような状況の中で、企業は5月の連休前に第1弾内定ラッシュを迎え、5月の終わりに第2弾、夏休み前に第3弾と続き、早い学生は7月までに内定をもらい、10月1日には内定式を行う企業もあるという。そして、10月以降は3年生を対象とした採用活動が始まる。

「そこを目指して学生は、3年生の8月、9月から就職活動をスタートするのが一般的」と菊地先生。

「そのことを目指して学生は、3年生の8月、9月から就職活動をスタートするのが一般的」と菊地先生。

「そのことを目指して学生は、3年生の8月、9月から就職活動をスタートするのが一般的」と菊地先生。

書く力、話す力が試される

では、企業が求める「最低限の資質」とは何だろうか。それは書く力と話す力。まずはエントリーシート(企業側の応募書類)で試されることになる。エントリーシートを提出させるのは、大手企業の約9割にのぼり、文字量的には1社だいたい2000字くらい。学生は一人18社から20社を受験するが、そうなることを原稿用紙100枚近く書くことになり、早めの準備が必要だ。

最近では、フリーに記述する欄を設定する企業が増えているという。「何を書いても自由。絵でも文章でも写真でも自分を表現するのが適切な自分自身で考えてもらいたい。要はマニアル通りではなく、自分で考えて課題を発見できるタイプかどうかを、企業は見ている」と先生。

また、面接では8〜10名で行うグループディスカッションを行う企業が増えていく。同年代の初めて合う人と、どんなコミュニケーションを取れるかが試される。「ポイントは何者受容できるかどうかで、一人でたくさんしゃべっても、一言も発しなくてもダメで、他者の話をよく聞いて、自分の意見との違いを伝えられることが重要だ。また、見知らぬ者同士が議論して一つの結論に至ることができるといい。フリーに記述する欄を設定する企業が増えているという。」「何を書いても自由。絵でも文章でも写真でも自分を表現するのが適切な自分自身で考えてもらいたい。要はマニアル通りではなく、自分で考えて課題を発見できるタイプかどうかを、企業は見ている」と先生。

また、面接では8〜10名で行うグループディスカッションを行う企業が増えていく。同年代の初めて合う人と、どんなコミュニケーションを取れるかが試される。「ポイントは何者受容できるかどうかで、一人でたくさんしゃべっても、一言も発しなくてもダメで、他者の話をよく聞いて、自分の意見との違いを伝えられることが重要だ。また、見知らぬ者同士が議論して一つの結論に至ることができるといい。フリーに記述する欄を設定する企業が増えているという。」「何を書いても自由。絵でも文章でも写真でも自分を表現するのが適切な自分自身で考えてもらいたい。要はマニアル通りではなく、自分で考えて課題を発見できるタイプかどうかを、企業は見ている」と先生。

パネルディスカッション

「内定学生が就職活動を語る」

コーディネーター／小林一哉氏(文化放送キャリアパートナーズ学校広報部チーフ)
参加学生／長島志津(日本語学科)、根本聖子(英米語学科)、山崎秀明(中国語学科)、大橋智之(経済学科)、村田一幸(不動産学科)

「いつ頃から就職を意識したか」
長島 3年の2月頃から考えた。それまで特に希望の業種など考えていなかった。根本 3年時に就職活動の準備のための「リクルートキャリアデザインプログラム」を履修して、就職を意識するようになった。その中で自分には接客業が好きだと気づいた。山崎 3年の末、学部学科は意識せずにやりたいのある仕事と考えて営業職を選んだ。大橋 本格的に考えたのは3年生の12月頃からで、企業の説明会などに足を運ぶようになった。村田 大学1年に宅建の資格取得を目指したときから、不動産業界が視野に入っていた。具体的に就職活動をスタートしたのは3年生の末頃。

「就職活動では自分のどんなところをアピールしたか」
村田 そのままの自分をアピールし、夢の実現に向けた熱意を伝えた。大橋 何事も達成するまで努力する性格をアピールした。高橋 はつかりとした希望がなかった。父が不動産業に近く、会社訪問や面接を受けた。自分自身の強みや弱みをアピールした。山崎 筆記試験や面接を全力で頑張った。自分の熱意が伝わったと思う。根本 前向きで明るくプラス思考の自分をアピールした。長島 元気で明るく、はきはししゃべることを心がけた。特に、教職の勉強や委員会活動など学生生活の充実をアピールした。

「内定をもらった企業と、当初の希望とのずれがあったか」
長島 特になかった。最初から金融業に決めていた。根本 子どもが大好きで子ども用品の販売を希望していた。村田 なかった。1日も早く

「就職しない、フリーターでいいと考えたことはあるか」
山崎 エントリーシートを書くのが辛い時、教職の勉強をしながらフリーターも考えた。根本 なかった。就職活動はたいへんだが、がんばった成果は必ずあると考えていた。村田 在学中に就職できなかったらフリーターもありだと考えていた。大橋 なかった。新卒のチャンスを大事にしたかった。村田 なかった。1日も早く

「就職について家族と話したか」
村田 父が不動産業に近い仕事を聞いているので、業界の様子を聞くことができた。大橋 相談した。生の企業の情報も聞いた。山崎 自分から相談はしなかった。親が「納得のいく就職をしろ」とだけ言ってくれたので、何のプレッシャーもなく活動できた。根本 就職を考えると、親の親の仕事が気になるようになった。社会人の先輩としてアドバイスをもらい、私も誇りをもちたいという仕事を探したいと思った。長島 銀行に進みたいと話したところ、向いているのではないかとアドバイスしてくれた。後輩に対するメッセージは

「自分をアピールすること」
長島 自分をアピールすること、早めに自分を振り返ったほうがいいと思う。根本 本当の自分をアピールすることが大事。山崎 就職活動は交通費もかかるし、面倒くさいけれど、楽しんでやってほしい。大橋 就職活動をがんばった人に話を聞くと参考になる。村田 慣れないことばかりだが、これを乗り越えないと卒業後の進路が見えてこない。

編集後記
今年も、「潮風」の発行の季節がやってまいりました。今年度は、篠原、谷、綿屋が担当させていただきました。本年度からホスピタリティ・ツーリズム学部が新設されそれにもない教育後援会の会則や奨学金規程の改定、また、リーフレットの改訂等を行いました。◆小生、今回この様な機会に携わるのは、小学生の時に仲間で作った壁新聞以来のことでした。◆日頃、意識しないで使っていた挨拶の言葉をあらためて見直すと、顔が赤くなったり青くなったりすることがあります。◆職場での一シーンで「ご苦勞様です」と「お疲れ様です」の挨拶の言葉の使い分けを取り違えるの大変横柄な者と相手方に誤解を受けてしまいます。◆「ご苦勞様です」は目上の方が目下の者に用いる言葉であり、また「お疲れ様です」は目下の者が目上の方に用いる言葉であることには気が付いておらず、ちょっとした誤解の元凶です。ちよとした気使いの言葉で職場の風通しが良くなるのではないのでしょうか。◆地区懇談会が今年度も9月より北陸地区を皮切りに順次開催されます。この会は、保護者と大学教職員との緊密な連携を図ることの出来る貴重な機会です。この機会にぜひ多くの保護者の皆様にご参加頂ければ幸いです。◆就職に際しては年々その対策準備が早くなっています。◆今号の発行にあたり、快く取材、インタビューにお応えいただきました大学教職員の皆様、そして学生諸氏にこの紙面をお借りしてお礼申し上げます。編集委員長 篠原康光